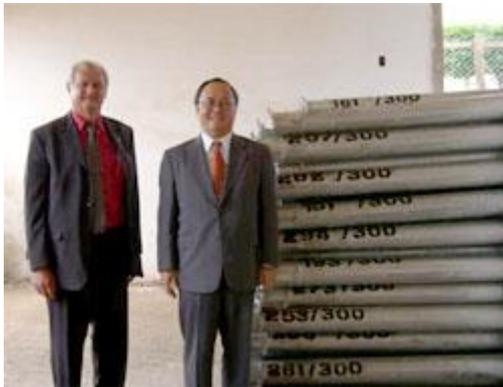




(右から) カズラ市長、西林総領事、  
アラサツバ日伯文化協会の方々



カズラ市長と西林総領事供与された送水管前

2005年10月25日、クレメンチーナ市高齢者活動センター会場において「クレメンチーナ市貧困農民支援計画」の供与式が開催されました。同式典には、西林万寿夫総領事、同市カズラ市長、アラサツバ地区農業開発事務所モイマス所長、アラサツバ日伯文化協会役員、同市関係者等約120名が出席しました。

カズラ市長は挨拶の中で「日本は現在各種協力を実施しブラジルとの関係強化に努力しているが、100年前の移民来伯当初からブラジルの発展に大きく貢献している。本プロジェクトにより、貧困農民は技術や資材の提供を受け、所得を獲得し、途上国を荒廃させる貧困に対抗することが可能となる。」と述べ、日本に感謝の意を示しました。

モイマス所長は、「本プロジェクトのメリットは、参加する農民それぞれが成長するチャンスを与えられることであり、今回日本が供与したトラクターと送水管はプロジェクト遂行に重要な位置を占めるもので、総領事

館が協力を決定したことは素晴らしいことである」と述べました。

西林総領事は「トラクター及び送水管が貧困農民の所得獲得に大きく貢献することを期待します」と挨拶しました。

引き続き、西林総領事とカズラ市長は赤いリボンをつけたトラクターの除幕式を行い、トラクターを利用して植え付け済の畑を見学しました。

○ 上記案件のプロフィール

案件名：  
「クレメンチーナ市貧困農民支援計画」

被供与団体：  
サンパウロ州クレメンチーナ市

契約署名日：2005年6月7日

供与限度額：67,788米ドル



案件概要：

クレメンチーナ市では、1995年より貧困農民支援プロジェクトとして、市が選定した低所得世帯に対して、土地、技術的指導、種子などを提供し、農業を通じた所得獲得プログラムを開始しています。近年、プログラムへの参加を希望する世帯が増えていることから、トラクターの増台及び送水管の追加が必要になりました。協力の内容は、トラクターと送水管の購入費用として、153,748レアルの費用を、我が国が無償で資金供与したものです。